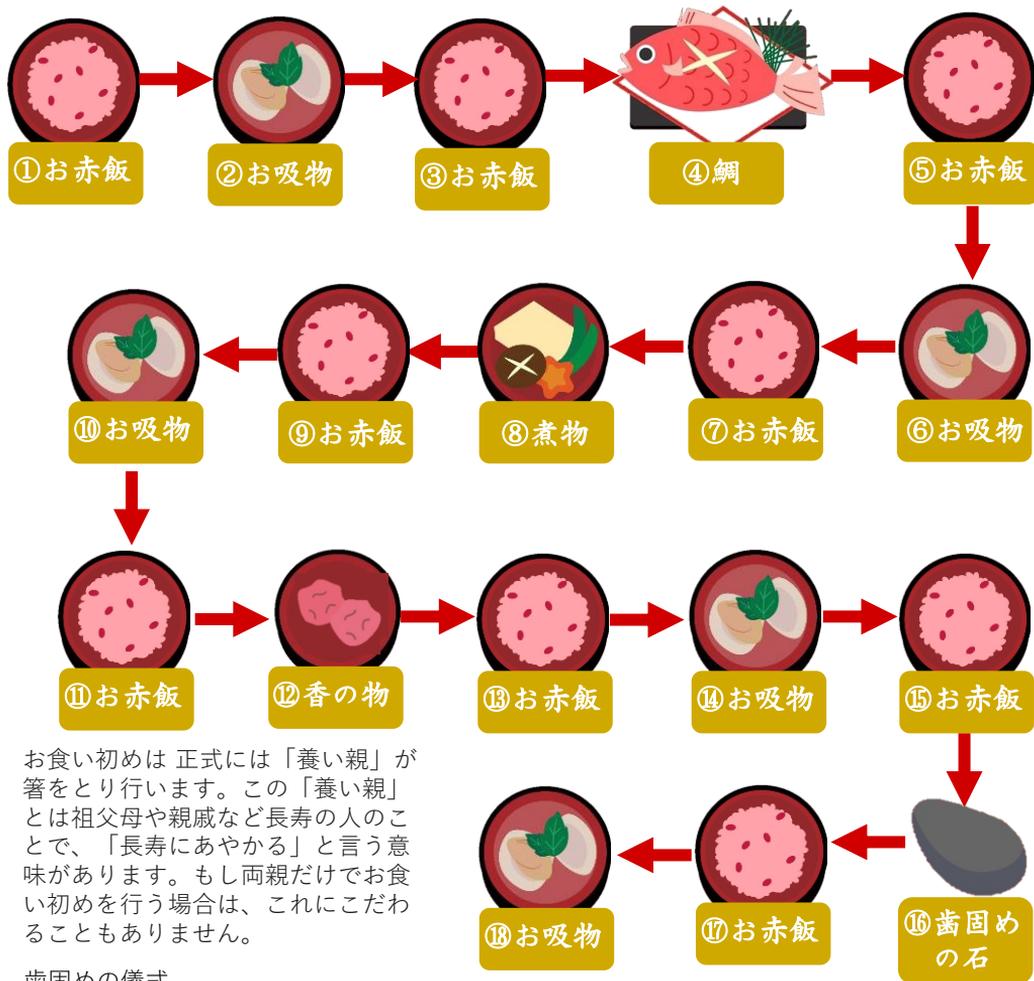




お食ひ初めのやりかた

※（一例）やりかたは地方によっていろいろあります。

百日祝い（お食ひ初め） 平安時代のころから続く儀式といわれています。下記の通りお赤飯から順番にお子さまの口に食べ物を近づけて「食べるまね」をさせるのが伝統的な内容です。「これから食べ物に困ることがないように」と願いを込めて行います。



お食ひ初めは正式には「養い親」が箸をとり行います。この「養い親」とは祖父母や親戚など長寿の人のことで、「長寿にあやかる」と言う意味があります。もし両親だけでお食ひ初めを行う場合は、これにこだわることありません。

歯固めの儀式

赤ちゃんに丈夫な歯が生えることを願うために行う儀式です

<流れ>

1. 歯固め石に箸で触れる

2. 「1」の箸先を赤ちゃんの歯茎にちょんちょんと優しくあててあげる

その際に「石のように硬く丈夫な歯が生えますように」という願いを込めながら行いましょう。